



〈自分（たち）でつくるみんなの学校 ～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子



学校だより 令和5年度No.2

## 「子供の大きな成長が期待できる運動会」

体育主任 古市 満

運動会は、学校の大きな行事の一つに数えられます。その準備や練習には時間を要しますし、行事自体も半日を要します。だからこそ、それだけの成果を期待することができると思います。その成果は、大きく三つ挙げられます。

一つ目は、高学年としての自覚と責任を高められることです。用具係や決勝係等の仕事を担当することで、高学年の子供一人一人が、「大事な仕事を任されている」「自分たちも運動会を運営している一人である」と自覚をもつことができます。そしてこの経験が、今後も自分の役割をしっかりと果たそうと責任をもって活動することに繋がるのです。

二つ目は、集団の団結力を高められることです。同じ色団の1年生から6年生までが、優勝という目標を目指して競技したり、応援したりすることで、一喜一憂しながらも団結することの素晴らしさを体感することができます。そしてこの思いが、今後も力を合わせて取り組もうとするエネルギーへと繋がると考えます。

三つ目は、子供一人一人が目当てをもち、達成するために努力することです。その目当ては、「疾走で1位になる」「応援団長として応援合戦では、誰よりも大きな声を出す」「係の仕事に責任をもつ」等様々ですが、目当てをもちことで、意識を高めて取り組むことができ、学ぶことも多くなります。そして、努力は自分を次のステージに導いてくれるという気付きに繋がると考えます。

感染症の流行が落ち着きを見せる中、コロナ禍前の生活に戻りつつある今年の運動会では、練習時から子供たちの素晴らしい姿を見ることができました。全体練習初日のグラウンドは、前日までの降雨で水溜まりができていました。それを登校するなりの6年生が、自ら進んでグラウンドに出て、スポンジで吸水し、全体練習ができるまでの環境に整えてくれました。どの子供も、働くことに喜びを感じているような嬉々とした表情でした。また、ある日の昼休み時間のこと、中学年のリレーメンバーは、上手なバトンパスができるように集まって自主練習に取り組みました。4年生が3年生に一生懸命に教え、3年生がどんどん上達していきます。すると、教えている4年生が充実感を味わっているのが伝わってきました。低学年は、整列をやさしく促してくれたり、きびきびと走ったりする高学年の姿を見て、それを真似ようとしていました。きっと、憧れのお兄さんとお姉さんに関われたことが嬉しかったのでしょう。どの姿も、微笑ましく、気持ちよく映りました。

運動会では、ともすると、順位や成績に目を向けがちです。もちろん、それもととても大切なことですが、それと同時に内心面も鍛えることができるのが醍醐味であると考えます。一人一人、今年の運動会の成績や反省を基に、来年度の目当てを決めていくこととなりますので、来年度は今年以上の姿を期待することができるはずです。来年度の運動会では、子供たちがどんな姿を見せてくれるのかと、今から楽しみにしています。